

国土地理院における施設の防災機能強化等

1. 背景・目的

宇宙測地館は、全国の電子基準点のデータを常時収集・解析している施設であり、得られたデータや結果は、GNSS（全球測位衛星システム）を利用した公共測量、地殻変動の監視、国土の管理、位置情報サービスなどのためにインターネットを通して提供し、広く利用されている。

しかし、宇宙測地館に設置されている非常用自家発電装置や一部の無停電装置は、設置後、更新されておらず、メーカーが推奨する耐用年数を超過しているため、長期の停電時に必要な能力を発揮しない恐れがある。また、電子基準点データのサーバーの一部は免震機能を備えていないため、首都直下地震等の際にはバックアップ機能が果たせず、防災上重要な業務が継続できない恐れがある。

このため、老朽化した電源設備を改修するとともに、サーバーに免震対策を施すなど、宇宙測地館の防災機能強化を図る。

2. 事業の概要

2系統ある宇宙測地館の無停電装置のうち、設置後、更新されていない1系統の無停電装置を更新するとともに、非常用自家発電装置の整備、点検を行う。さらに、サーバーに免震ラックを導入して地震から守る。

3. 平成25年度補正予算案額

国費 155百万円

4. 事業の効果

首都直下地震等の大規模な災害が発生した場合でも、電子基準点の地殻変動を把握するための防災上重要なデータの収集・解析・提供が継続できる。また、巨大地震発生後の余効的な地殻変動を監視し、余震への警戒情報として防災関係機関に提供するなどの活用が期待でき、国民生活の安心・安全に寄与する。

(問い合わせ先)

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番

国土交通省 国土地理院

測地観測センター 衛星測地課長 辻 宏道 Tel 029-864-6951

課長補佐 田中 和之 Tel 029-864-6258

Fax 029-864-6864

国土地理院における施設の防災機能強化等

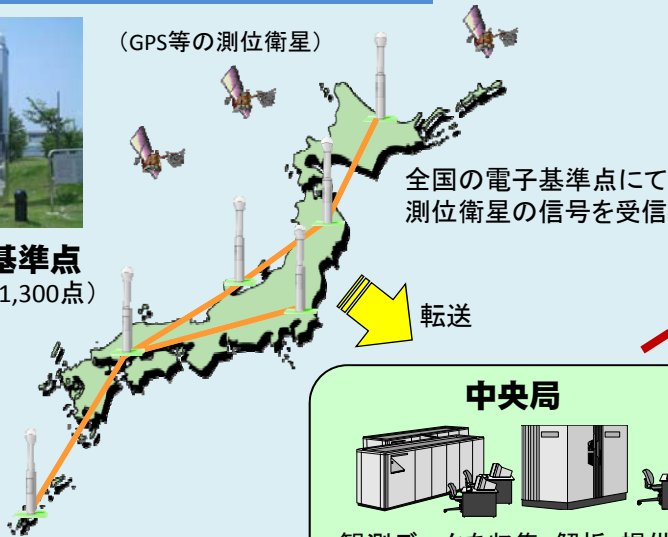
GNSS連続観測システムの中央局のある宇宙測地館を、首都直下地震等の災害時においても確実に運用できるよう、電源の強化やサーバーの免震化を施し、防災機能強化を図る。

GNSS連続観測システム



(GPS等の測位衛星)

電子基準点
(全国約1,300点)



中央局



観測データを収集・解析・提供
地殻変動の監視



国土地理院宇宙測地館
(つくば市)

問題

- 宇宙測地館の無停電装置、自家発電装置が老朽化
- 解析システムの免震対策が不足

首都直下地震等の際には十分に機能しない恐れ

対策は急務



無停電装置、自家発電装置を改修
サーバー用免震ラックを導入

防災能力向上

効果

首都直下地震等でも宇宙測地館の機能を維持

- 地殻変動を継続して監視
- 巨大地震後も続く余効的な地殻変動を捉え、余震への警戒情報等としての活用が期待

国民生活の
安心・安全に寄与